

第3部は、人間活動とのかかわりをまとめたものである。オアシスの農業、砂塵嵐、森林火災などが取り上げられている。沙漠化に関する一般的な解説書には、「乾燥地域における薪の伐採が沙漠化につながる」と記述されているが、実際にはどうであろうか。ホータンでの聞き取り調査によると、「燃料用または建材としてのタマリスクの採取は、一般的にはオアシスから1950年代には数km以内、1960年代には10-20km、1980年代には30-50kmと言われている。」

第4部は、中国の沙漠化の要因や人間活動とのかかわりをまとめたものである。古くは漢や唐の時代におけるオアシスの灌漑事業と沙漠化から、近年では「文化大革命」(1966年から1976年)における沙漠化の進行

が述べられている。

本書を読み進むうち、後半の第3、4部は評者の専門を越える領域で、やや難しく感じられた。しかしながら、沙漠化という現象は気候変動と人間活動の相互作用であるとの立場に立つと、人間活動とのかかわりを正確に理解しておくことは重要である。このような意味で、乾燥地域の気候を解説する研究者はいても、広範な人間活動を含む沙漠化を解説できるのは、著者しかいない。本書は、中国における沙漠化を総合的に解説した好著で、この分野の研究では良い道しるべとなるであろう。また、一般の方々にも一読をおすすめしたい。

(名古屋大学大学院人間情報学研究所 甲斐憲次)



## 教官（京都大学防災研究所）の公募

京都大学防災研究所では、下記の要領で教官を公募しております。

### 記

公募人数：教授1名

所属：大気災害研究部門 耐風構造研究分野

研究内容：建築・構造物に作用する風の性状やそれによる建築・構造物の挙動の解明および耐風設計法の研究を行う。

また、京都大学大学院工学研究科建築系専攻の教育を担当する。

任用時期：平成12年4月1日以降

応募資格：博士の学位を有する者

提出書類：1) 履歴書

2) 研究業績一覧(「著書」,「論文」,「総説・解説」,「報告書」に分類し、論文については、「査読あり」,「査読なし」および「国際会議報告」等に区別して一覧表を作成すること)

3) 主要論文5編の別刷またはコピー

4) 研究業績の概要(A4用紙2枚以内)

5) 今後の研究計画および抱負(A4用紙2枚以内)

6) 推薦書 または

応募者に関する所見を伺える2名の方の氏名と連絡先

公募締切：平成12年1月10日(月)必着

書類提出先：〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

京都大学防災研究所

大気災害研究部門教授候補者選考委員会(宛)

(封筒には、「教官応募書類在中」と朱書きし、郵便の場合には簡易書留にすること)

問い合わせ先：防災研究所事務部総務課庶務掛

Tel: 0774-38-4005, Fax: 0774-38-4030

E-mail: shomu@dpri.kyoto-u.ac.jp

封書の場合：防災研究所事務部総務課庶務掛気付

大気災害研究部門教授候補者選考委員会